

令和 8 年度 糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報 No. 7

令和 8 年 7 月 30 日

糸魚川農業普及指導センター

1 7 月 30 日現在のコシヒカリの生育状況（指標値との比較）

田植日・調査ほ場	茎数	葉色
田植日 5 月 2 ～27 日 東海、西川原、東中、榎	並～やや多	濃

- 5 月中旬までに植えたほ場では、すでに出穂期を迎えています。
- 葉色は 2 回の穂肥により指標値を上回っているほ場が多く、全量基肥体系でも追加穂肥により持ち直しています。
- 調査ほ場の出穂期は以下のとおりです。

表 調査ほ場ごとの出穂期（田植え時期は下段調査結果表参照）

調査ほ場（地区名）	出穂期	調査ほ場（地区名）	出穂期
東海（早川地区）	7 月 25 日	東中（根知地区）	8 月 10 日（見込み）
西川原（今井地区）	7 月 24 日	榎（能生地区）	7 月 27 日

2 今後の管理について

- 1 か月予報（新潟地方气象台 7 月 30 日発表）によると、今後 1 か月は高温で推移すると予想されています。後期栄養の確保（穂肥）と水管理が重要です。
- まだ出穂期に達していないほ場では、2 回目穂肥を施用した後も葉色が淡いままの場合、3 回目穂肥を施用してください（めやす：SPAD 値で 33 未満の場合、出穂期直前（走り穂）頃までに窒素成分で 10a 当たり 1 kg（例 越後の輝き有機 50 穂肥で 8 kg/10a））。
- 全量基肥（元肥一発）体系でも、葉色が淡い場合は出穂期直前（走り穂）頃までに窒素成分で 10a 当たり 1 kg 施用しましょう。
- 新潟県病害虫防除所から、7 月 29 日に斑点米カメムシ類の多発生に関する注意報が発出されました。畦畔等の雑草管理及び薬剤防除を徹底してください。

3 7 月 30 日のコシヒカリ生育調査結果

調査項目		ほ場場所 （田植日）	指標値 ※	東海 （5 月 6 日）	西川原 （5 月 2 日）	東中 （5 月 27 日）	榎 （5 月 17 日）
草 丈	本年値（c m）	90	90	108	104	79	111
	平年比（%）			110	112	89	119
	指標比（%）			120	116	88	123
茎 数	茎数（本／㎡）	370	370	377	429	421	345
	平年比（%）			98	118	101	85
	指標比（%）			102	116	114	93
葉 数	本年値（葉）	12.8	12.8	13.1	14.4	12.3	12.7
	平年差（葉）			-0.1	+0.9	-0.7	-0.5
	指標差（葉）			+0.3	+1.6	-0.5	-0.1
葉 色	本年値（SPAD 値）	32.0	32.0	34.2	35.3	30.6	37.8
	平年差（SPAD 値）			+1.4	+2.1	-1.6	+3.4
	指標差（SPAD 値）			+2.2	+3.3	-1.4	+5.8

※平年比・差とは、各調査ほごとの過去 10 年平均の生育値に対する現在の生育値の割合・差

※指標比・差とは、目標とする理想的な生育値（指標値）に対する現在の生育値の割合・差